“次世代への挑戦！！”

自民党真政　さいたま市議会議員

井原ゆたか

井原ゆたか市政レポート　vol.7　（発行日）平成30年10月
（発行）井原ゆたか事務所　さいたま市中央区下落合 1071-1 MI ビル 3F

活動報告

中央区の身近な問題から、さいたま市の将来像に関わる問題まで、幅広く行政へ提言をしております！

1 さいたま市の大きな課題

1．さいたま市役所本庁舎整備
2．地下鉄７号線の延伸事業
3．大宮駅グランドセントラルステーション

2 決算議案に対する質問

1．決算議案 Q&A
2．決算議案のポイント

3 井原ゆたかの提案が実現

1．鈴谷６丁目の道路修繕
2．さいたま新都心～浦和美園間の電動 (EV) バスが始動
3．大宮駅周辺の宿泊施設の増加

ご挨拶

市議会議員一期目の任期もいよいよ残り半年となりました。今夏は酷暑という気候の下で、西日本豪雨、台風21号の関西直撃、北海道の大地震と多くの大災害が生じまして、被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。環境変化に対し、さいたま市としても対応策を講じ、安心安全のまちづくりを進めると共に、環境に配慮した持続可能なまちづくりへと、他の自治体に先んじて舵を切っていく必要があると考えます。 一方で限られた市の財源の中で、国や民間企業とも連携した上で、市の歳出を抑え、歳入を上げていく施策も取り入れていきたいと考えます。そのためには、従来の行政手法による規制を緩和し、さいたま市の地域性も考慮した上で民間からの提案も積極的に取り入れていく姿勢が重要となるでしょう。「次世代への挑戦！」という想いを胸に、 今後も市政に対し、新たな視点でのチャレンジを続けてまいります。

■ さいたまの未来を考える ■

市長も今後の10年を「**運命の10年**」と位置付けるほど、今は政治的にも大きな課題を抱えております。私の観点からは少なくとも以下の**3つのテーマ**は、今後の市の未来５０年以上に及ぶテーマであり、それぞれが今動きつつあります。

詳細はこちら

3つのテーマ

1. **さいたま市役所本庁舎整備**
2. **地下鉄７号線の延伸事業**
3. **大宮駅グランドセントラルステーション**

1 さいたま市役所本庁舎整備

旧３市（与野・浦和・大宮）の合併経て、**政令市移行から15周年**を迎えた中で、未だに本庁舎の位置については議論が続いておりましたが、今年５月に**本庁舎整備審議会の答申**が出ました。

１．規模：合計40,000㎡（行政部分37,000㎡、議会部分3,000㎡）

２．位置：さいたま新都心駅周辺800ｍ圏内

３市合併の時に締結した**合併協定書**にも市役所の位置は**新都心周辺が望ましい**との記載があり、これに準拠して審議会の答申も出たと言えます。他市を見ても、市役所は街のシンボルであり、市全体を俯瞰したまちづくりを考えれば、**市の中心にあるべき**でしょう。今後は、答申を踏まえて位置や規模の決定をしていく段階です（⇒９月補正予算）。

【本庁舎整備審議会の答申】
5月30日に沢井会長から清水市長へ答申書が渡された。

2 地下鉄７号線の延伸

埼玉高速鉄道線は、現在浦和美園駅が終点ですが、**岩槻駅**を通って**蓮田駅**まで延伸する計画があります。今までは**採算性（B/C:費用便益比）**が1.0を超えない値でしたが、快速運転導入や、（仮称）埼玉スタジアム駅の整備等を加味すると、今年２月に初めて**B/C＝1.1**という結果が出ました。現在は埼玉県や国、事業者である埼玉高速鉄道とも協議の上、事業化を検討しております。（⇒最終決定権は鉄道事業者）

しかし、岩槻駅までの延伸には**総工費で約860億円**が見込まれ、その後も本鉄道が赤字路線となった場合は、市が補てんすることも予想されますので、本事業が**市民全員にとって意味のある事業であるかどうか**も判断の基準になるでしょう。交通インフラは街の要でありますが、財源は限られますので、慎重な判断で事業化を進めるべきです。

【みそのウイングシティ】
現在市内で大きく人口が伸びている地域の一つ

3 大宮駅グランドセントラルステーション(GCS)

大宮駅とその周辺は、私が物心ついてから30年間ほぼ街の姿が変わっていません。一方で、東京都内や近隣都市を見れば、各地域の中心となる駅は時代と共に変化を続けています。今年になって大宮駅東口の旧中央デパート跡地では、**東口地域で初めての再開発**に着手しました。そして、大宮駅も東武鉄道とJRの乗り換え改善だけでなく、東西自由通路や北口改札の新設、東口駅広場の整備等を含めた大規模な改修計画となる**大宮駅GCS化構想**が今年７月に策定されました。

大宮駅は、北に向かう全ての新幹線が乗り入れ、**東日本の玄関口**としても注目が集まる交通の結節点となりました。今後、単なる結節点で終わることなく、交通の拠点を活かした人の交流と経済循環を生み出す地域へと発展させるべきでしょう。

駅南側から駅前空間を望む（本編スタディパターン③をもとに作成）

銀座通りを南側に望む（東西通路と街区の接続）

イメージパースは、確定しているものではありません。デザインの詳細等についても、今後検討していきます。

【大宮駅東口空間のイメージ】
大宮駅GCS化構想に示されたイメージパースのひとつ

■ 平成29年度決算議案に対する質問 ■

平成29年度歳入歳出決算議案について、大局的に以下の質問しました。

Q. さいたま市が出来て以来、歳入歳出の黒字が継続している理由は？
A. 年度内で適宜補正予算を計上することで、黒字の収支を維持している。

Q. 土木費国庫補助金の大幅減についてはどう評価するか？
A. 現状では要望に対して概ね6割程度しか取れていない。他の自治体でも厳しい状態ではあるが、他市に比べてもさいたま市は低い。

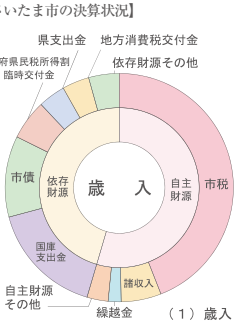
Q. 市債の昨年比42％の増と、当初予算とのと大幅な乖離はどう評価するか？
A. 再開発など大規模事業も増えたので市債は増加したが、経済状況を踏まえると適切な運用。一方で予定通りに進まなかった事業もあり、市債の減額補正を行った。

Q. 民生費は人口増加分も加味した上で、増加率をどう評価するか？
A. 民生費は昨年度に比べて5％増加しており、人口増より伸びしろは大きいが、福祉・子育て等の必要な事業に支出した結果である。

point

東日本の中枢都市へとまちの整備が加速化している一方で、 国の補助金が不足したり、民生費の増分も大きかったりする影響を受け、事業進捗が思わしくない現状も分かりました。地方創成が進む中で、国との連携を強化すると共に、さいたま市に投資する必要性も対外的にPRしていく必要があるでしょう。

【さいたま市の決算状況】



■ 井原ゆたかの提案が実現 ■

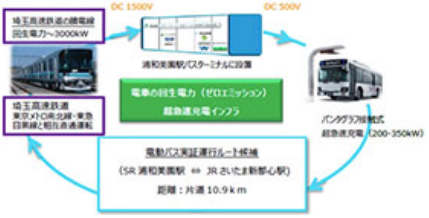
1 鈴谷６丁目の道路修繕

さいたま市内でも多くの道路修繕の要望がある中で、**今年度中に修繕される道路**となりました。中央区は比較的道路の状態は良いですが、未補修の道路も散見されておりますので、引き続き着手してまいります。

通学路にもなっており、早期の道路修繕が望まれていた。

2 さいたま新都心～浦和美園間の電動(EV)バスが始動

H27年９月議会での提案が実現します。**今年10月より実証実験**が始まり、日本初の急速充電のEVバスが走ります。信号機制御も導入することで上記２区間を15～20分で結び、一往復分の充電を約５分で完了します。**新都心～浦和美園間の回遊性の向上**も期待されます。



【EV バスの実証実験】今までは大型車体の急速充電は技術的にも難しかった。

3 大宮駅周辺の宿泊施設の増加

以前から宿泊施設不足は指摘しており、私からは他市の状況を整理して**4000室を目標**としてはどうか、と提案しておりました。H27年度では2500室以下でしたが、H31年度には3500室程度になり、**H32年度には4000室に達する見込み**となりました。オリンピックに向けて、交流人口の増加が期待されます。

コラム：ボーイスカウトの日本スカウトジャンボリー（NSJ）に奉仕参加

石川県珠洲市にて行われたNSJに、埼玉派遣隊４隊の副長として参加しました。さいたま北地区の約30名のスカウトたちと共に、長期に渡る野営の中で様々な経験をしました。学校では学べない貴重な経験が出来るボーイスカウト活動も、積極的に支援してまいります。

井原 ゆたか　プロフィール　● 昭和58年１月13日さいたま市生まれ（35歳）

淑徳与野幼稚園　卒園
与野本町小学校　卒業
麻布中学校・高等学校　卒業
東京大学理学部天文学科　卒業
東京大学大学院理学系研究科博士課程修了
平成 22 年　東芝ソリューション株式会社　入社
平成 25 年　トヨタ自動車株式会社　入社（出向）
平成 27 年　さいたま市議会議員　当選

井原ゆたか事務所
〒338-0002 さいたま市中央区下落合1071-1MIビル4 3階
Tel ：050-3418-7058
Fax ：050-3588-4018
Mail：contact@yutakaihara.jp

井原ゆたか 公式HP　http://www.yutakaihara.jp/